

情報種別：秘密（統合開発セキュリティ基盤サービス関係者限り）  
会社名：株式会社NTTデータ  
情報所有者：ITマネジメント室

# 統合開発セキュリティ基盤サービス DNSサーバ設定マニュアル 1.4版

2021年11月02日  
株式会社NTTデータ  
ITマネジメント室

# 改訂履歴

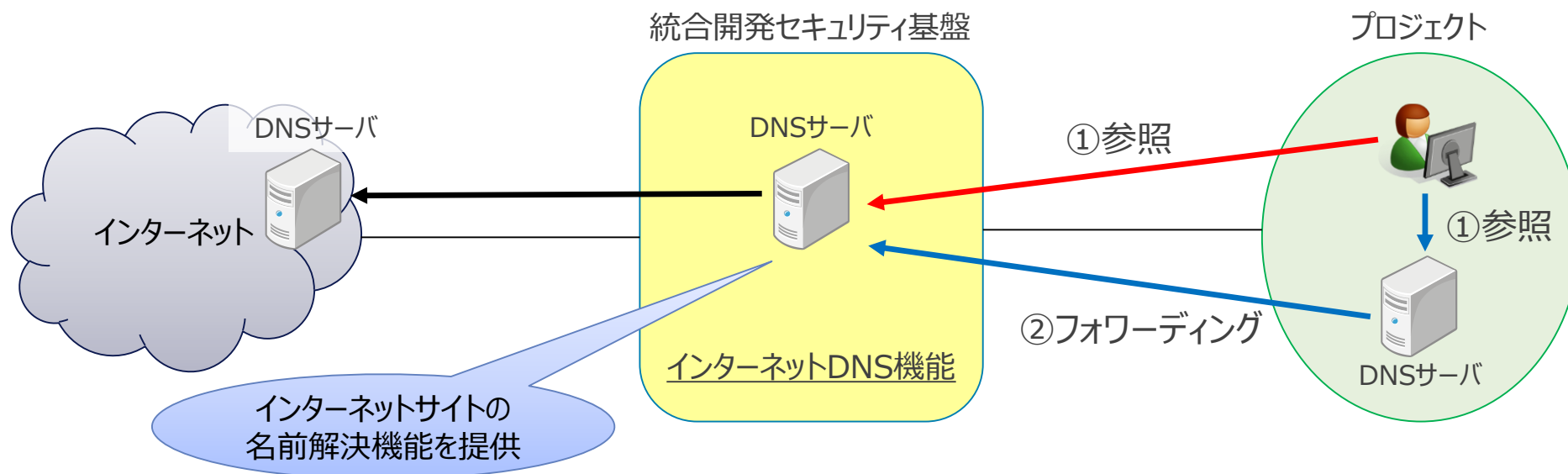
版数	発行日	改訂履歴
1.0	2017/03/13	新規作成
1.1	2017/05/23	
1.2	2018/07/02	サービス名称の変更
1.3	2021/03/24	問い合わせ先の更新
1.4	2021/11/02	問い合わせ先の削除

1. 本書について
2. イメージ図
3. DNSサーバ設定手順
4. フォワーディング設定手順（Windowsサーバ）
5. フォワーディング設定手順（Linuxサーバ）

# 1. 本書について

- 本資料は、統合開発セキュリティ基盤サービスにて、セキュアインターネットアクセスサービスのDNSサーバを利用するためのクライアント側の設定方法や接続方法等を説明するものです。
- 本資料は、随時バージョンアップします。最新の資料は、統合開発セキュリティ基盤サービスサポートページ<<https://uds-portal.x-network.jp/uds/>>で入手してください。
- セキュアインターネットアクセスサービスは、各プロジェクトの端末からWebサイトを安全に閲覧するために提供されるサービスです。
  - セキュアインターネットアクセスサービスをご利用いただく際には、「セキュアインターネットアクセスサービス利用ルール」を遵守することが条件となります。同ルールが遵守されていない場合、サービスの利用は停止されます。
  - 各プロジェクトのプライベートネットワークに接続できることを前提とします（各プロジェクトのネットワーク設定については各プロジェクトのプロジェクト管理者様・副管理者様にお問い合わせ下さい）。

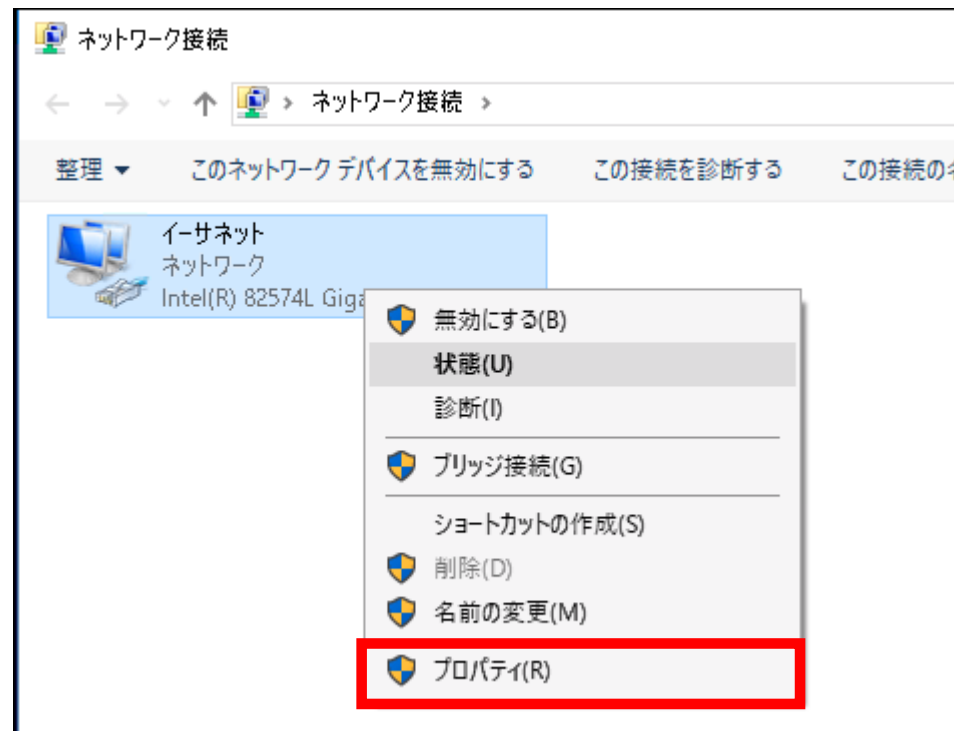
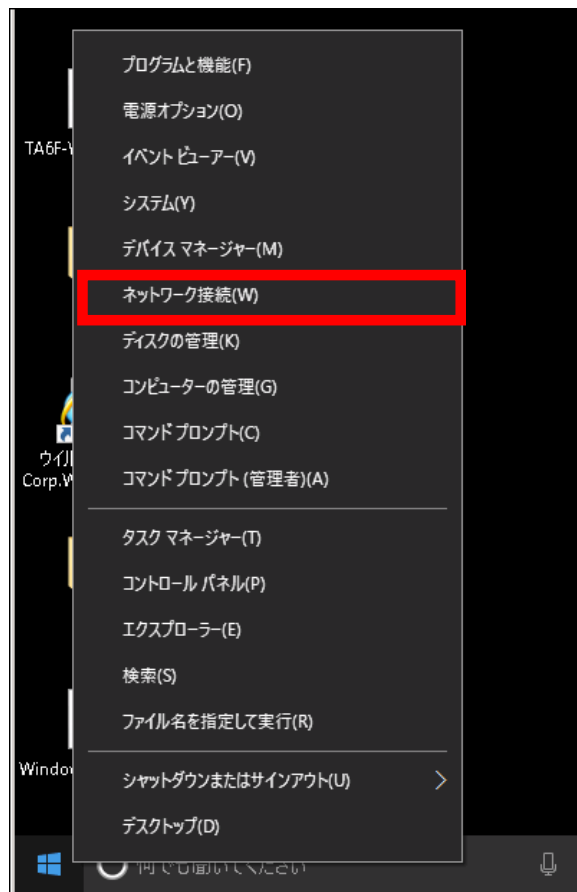
## 2. イメージ図



パターン	内容	該当手順
①	プロジェクト内部の端末が、統合開発セキュリティ基盤のDNSサーバあるいはプロジェクト内に設置されたDNSサーバを参照する。	3. DNSサーバ設定手順
②	プロジェクト内に設置されたDNSサーバが、統合開発セキュリティ基盤のDNSサーバに対してフォワーディングする。	4. フォワーディング設定手順 (Windowsサーバ) 5. フォワーディング設定手順 (Linuxサーバ)

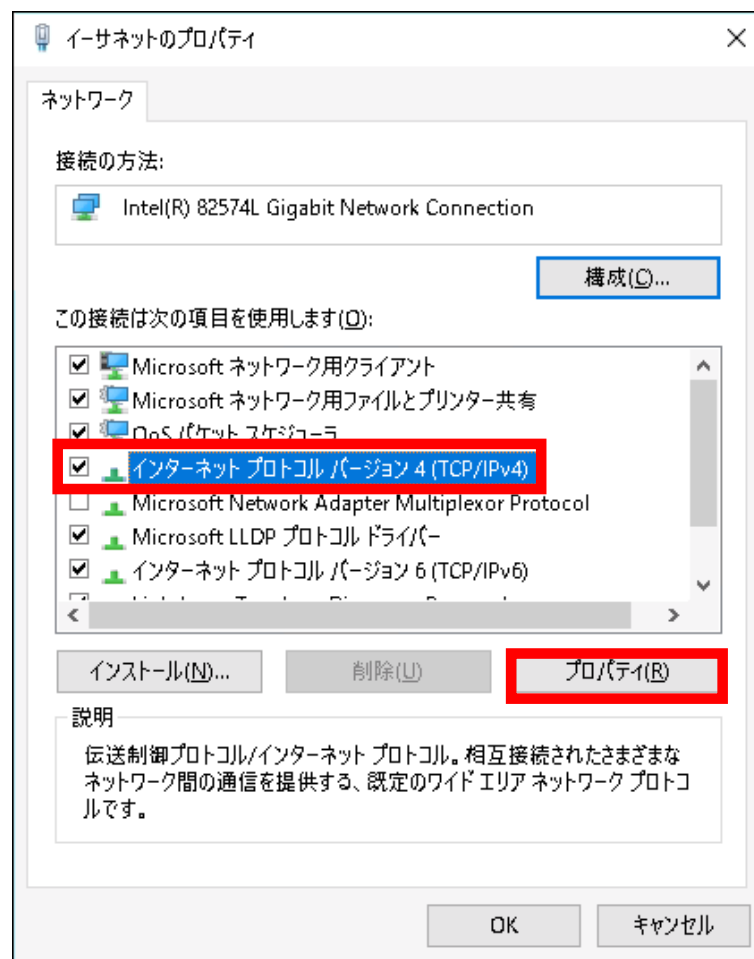
### 3. DNSサーバ設定手順

- 「スタートボタン」を右クリックし、「ネットワーク接続」を選択します。
- 「ネットワーク接続」の画面にて、プロジェクトに接続しているネットワークデバイスを右クリックし、「プロパティ」を選択します。



### 3. DNSサーバ設定手順

- 「イーサネットのプロパティ」の画面にて、「インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。



### 3. DNSサーバ設定手順

- 「インターネット プロトкол バージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」の画面にて、以下のとおり設定し、「OK」をクリックして下さい。

インターネット プロトкол バージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ

全般

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

☐ IP アドレスを自動的に取得する(O)

☒ 次の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I): 192 . 168 . 10 . 201

サブネット マスク(U): 255 . 255 . 255 . 0

デフォルト ゲートウェイ(D): 192 . 168 . 10 . 1

☐ DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)

☒ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):

優先 DNS サーバー(P): 163 . 135 . 193 . 233

代替 DNS サーバー(A): 163 . 135 . 193 . 231

☐ 終了時に設定を検証する(L)

詳細設定(V)...

OK キャンセル

◆「次のDNSサーバーのアドレスを使う(E):」を選択

◆「優先DNSサーバー(P):」に以下のアドレスを入力  
**163.135.193.233**

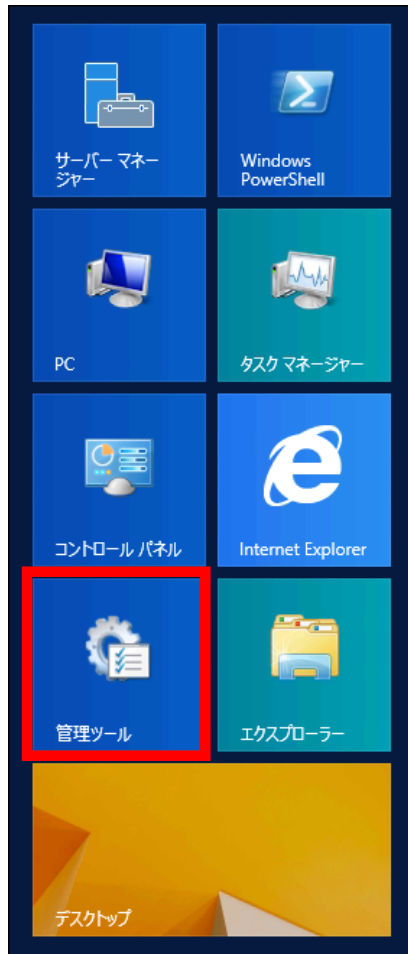
◆「代替DNSサーバー(A):」に以下のアドレスを入力  
**163.135.193.231**  
もしくは**163.135.193.232**

※ プロジェクト内にDNSサーバを設置済みの場合、  
アドレス情報はプロジェクト管理者様へ  
ご確認下さい



## 4. フォワーディング設定手順（Windowsサーバ）

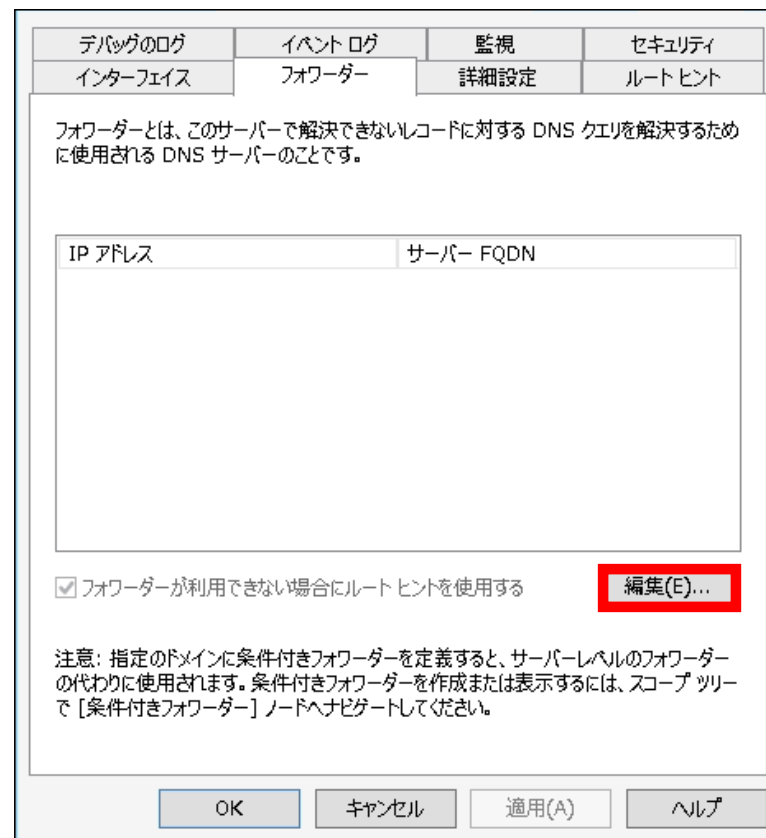
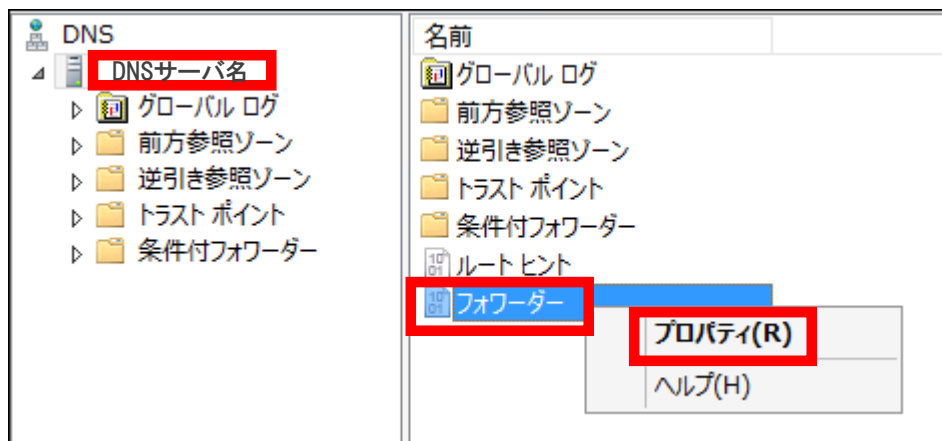
- 「スタートメニュー」より「管理ツール」を選択します。
- 「管理ツール」より「DNS」を選択します。



名前	更新日時
Terminal Services	2013/08/23 0:39
Active Directory サイトとサービス	2013/08/22 15:55
Active Directory ドメインと信頼関係	2013/08/22 15:55
Active Directory ユーザーとコンピューター	2013/08/22 15:55
Active Directory 管理センター	2013/08/22 8:50
ADSI エディター	2013/08/22 15:55
DNS	2013/08/22 15:55
iSCSI イニシエーター	2013/08/22 15:57
Microsoft Azure サービス	2014/07/24 13:02
ODBC データ ソース (32 ビット)	2013/08/22 8:56
ODBC データ ソース (64 ビット)	2013/08/22 15:59
Windows PowerShell (x86)	2013/08/23 0:37
Windows PowerShell ISE (x86)	2013/08/22 15:55

## 4. フォワーディング設定手順（Windowsサーバ）

- 画面左側より「DNSサーバ名」を選択し、画面右側の「フォワーダー」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
- 「編集」を選択します。



## 4. フォワーディング設定手順（Windowsサーバ）

- 「フォワーダーの編集」の画面にて、フォワード先のDNSサーバーのアドレスとして、「163.135.193.231」「163.135.193.232」「163.135.193.233」を入力して「OK」を選択します。
- 「適用」のクリックしたのち、「OK」を選択します。

フォワーダーの編集

転送サーバーの IP アドレス(S):

IP アドレス	サーバー FQDN	検証済み
163.135.193.231	ms0.nttdata.co.jp	OK
163.135.193.232	ms1.nttdata.co.jp	OK
163.135.193.233	ms2.nttdata.co.jp	OK

削除(D) 上へ(U) 下へ(O)

クエリ転送のタイムアウト(秒): 3

適切な逆引き参照ゾーンおよびエントリが構成されていない場合、サーバー FQDN は利用できません。

OK キャンセル

デバッグのログ イベント ログ 監視

インターフェイス フォワーダー 詳細設定 ルートヒント

フォワーダーとは、このサーバーで解決できないレコードに対する DNS クエリを解決するために使用される DNS サーバーのことです。

IP アドレス	サーバー FQDN
163.135.193.231	ms0.nttdata.co.jp
163.135.193.232	ms1.nttdata.co.jp
163.135.193.233	ms2.nttdata.co.jp

☒ フォワーダーが利用できない場合にルートヒントを使用する 編集(E)...

注意: 指定のドメインに条件付きフォワーダーを定義すると、サーバーレベルのフォワーダーの代わりに使用されます。条件付きフォワーダーを作成または表示するには、スコープ ツリーで「条件付きフォワーダー」ノードへナビゲートしてください。

OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

## 5. フォワーディング設定手順（Linuxサーバ）

- 以下に設定例を記載します。（BINDの場合）

【対象ファイル】 **named.conf**

【設定内容】

```
options {  
    .....  
    forwarders {  
        163.135.193.231;  
        163.135.193.232;  
        163.135.193.233;  
    };  
    forward only;  
    .....  
};
```



# NTT DATA

Global IT Innovator